

2017年度 第1四半期 決算補足資料

2017年8月8日

2017年度 第1四半期決算のポイント

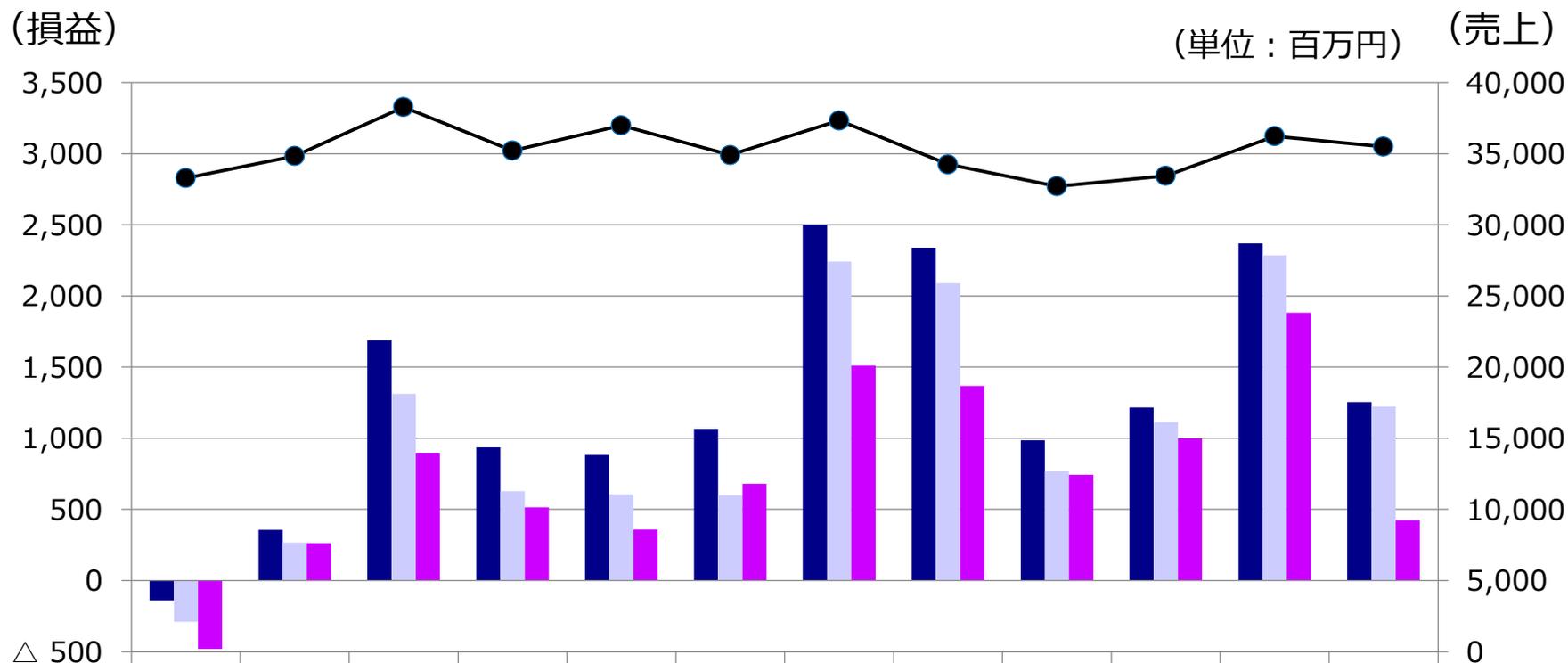
(単位：百万円)

	2016年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	34,258	100.0%	35,494	100.0%	1,236	3.6%
営業利益	2,340	6.8%	1,255	3.5%	△1,085	△46.4%
経常利益	2,090	6.1%	1,222	3.4%	△868	△41.5%
当期純利益	1,368	4.0%	423	1.2%	△945	△69.1%
EPS (円)	52.94		16.38		△36.56	

《全体感》

- 売上：受注量の増加、アルミ地金市況変動の影響等により増加
- 営業利益：労務費・減価償却費の増加、価格改定の影響等により減益
- 経常利益：営業利益の減少及び支払利息等により減益
- EPS：当期純利益の減少により、36.56円/株減少

連結決算概要（四半期推移）



項目	14年度 2Q	14年度 3Q	14年度 4Q	15年度 1Q	15年度 2Q	15年度 3Q	15年度 4Q	16年度 1Q	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q
営業損益	△ 139	355	1,688	936	883	1,066	2,500	2,340	986	1,216	2,370	1,255
経常損益	△ 291	266	1,311	629	607	599	2,242	2,090	767	1,113	2,286	1,222
当期純損益	△ 481	262	899	514	358	680	1,510	1,368	744	998	1,882	423
売上高	33,294	34,842	38,279	35,217	36,989	34,913	37,332	34,258	32,718	33,453	36,228	35,494

ダイカスト事業

(単位：百万円)

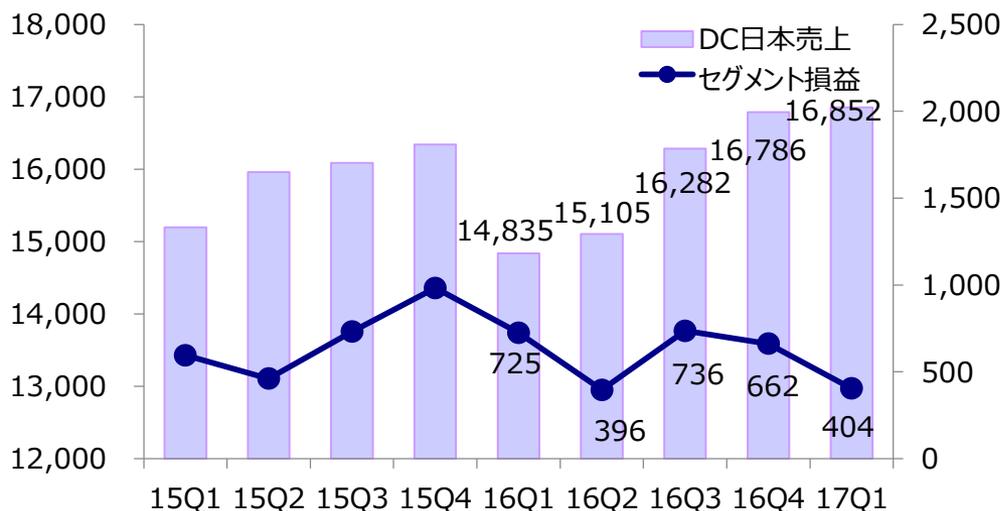
		2016年年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		増減	
日本	売上高	14,835	100.0%	16,852	100.0%	2,017	13.6%
	セグメント損益	725	4.9%	404	2.4%	△321	△44.3%
北米	売上高	11,035	100.0%	10,443	100.0%	△592	△5.4%
	セグメント損益	1,029	9.3%	381	3.6%	△648	△63.0%
アジア	売上高	6,432	100.0%	6,655	100.0%	223	3.5%
	セグメント損益	382	5.9%	364	5.5%	△18	△4.7%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2016年度1Q：54.1% ⇒ 2017年度1Q：49.6%

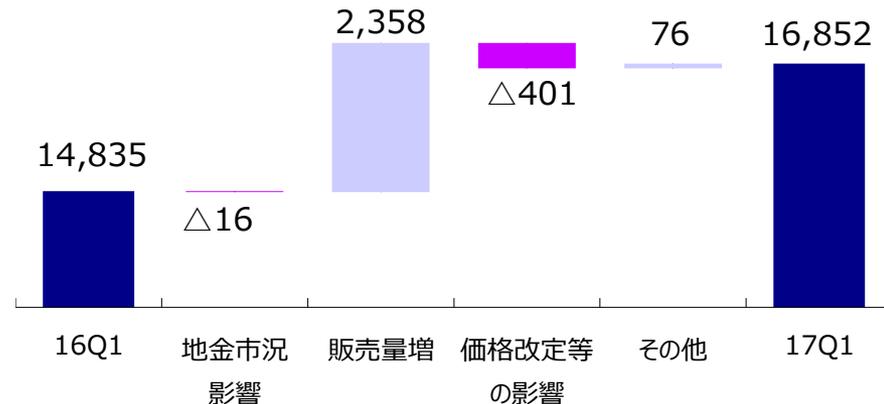
※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

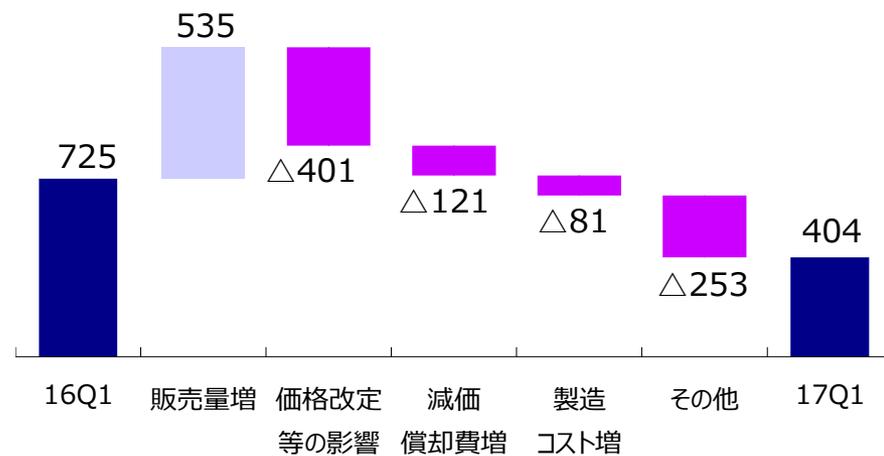
ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



売上：20億円増（前期比13.6%増）

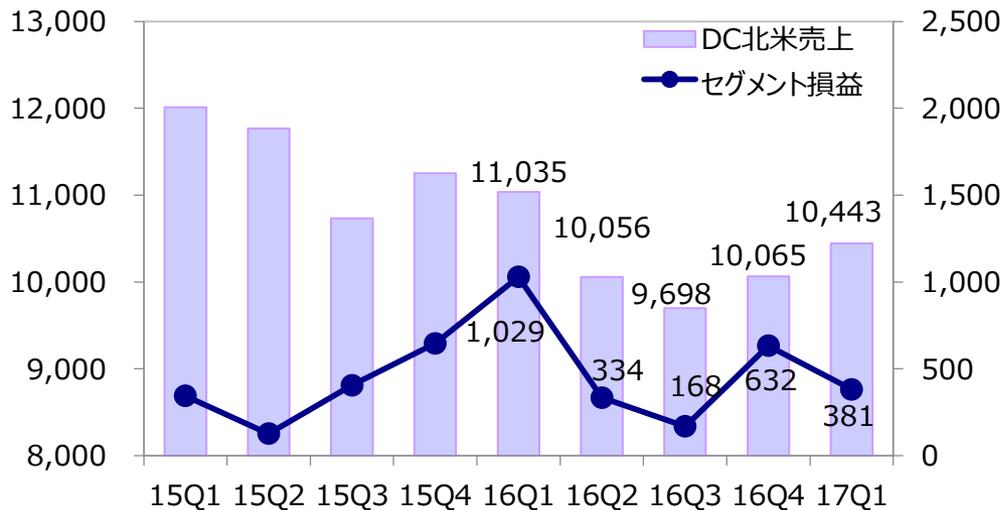
- 主要顧客の輸出が好調で受注量が増加
- 昨年の熊本地震の影響からの回復

セグメント損益：3.2億円減（前期比44.3%減）

- 販売量増加の一方で価格改定の影響等もあり減益
- 減価償却費や労務費等も増加

ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



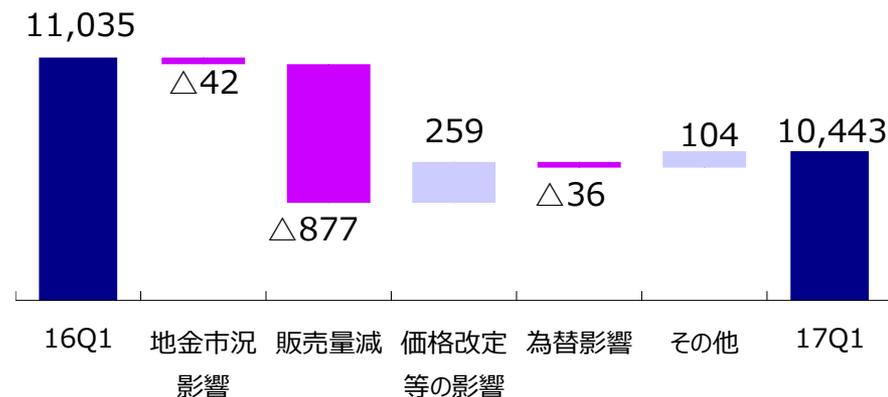
売上：5.9億円減（前期比5.4%減）

- 米国はダウンサイジングの影響を受け受注減
- メキシコでは受注増加傾向

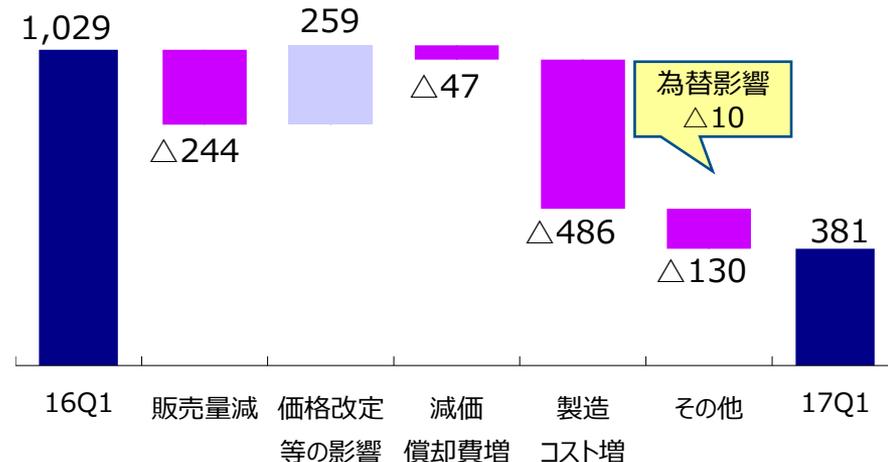
セグメント損益：6.4億円減（前期比63.0%減）

- 米国は販売量の減少と生産性の改善途上
- メキシコでは安定した生産による収益を計上（会計基準変更により、メキシコのPTUを計上）

売上高増減要因（単位：百万円）



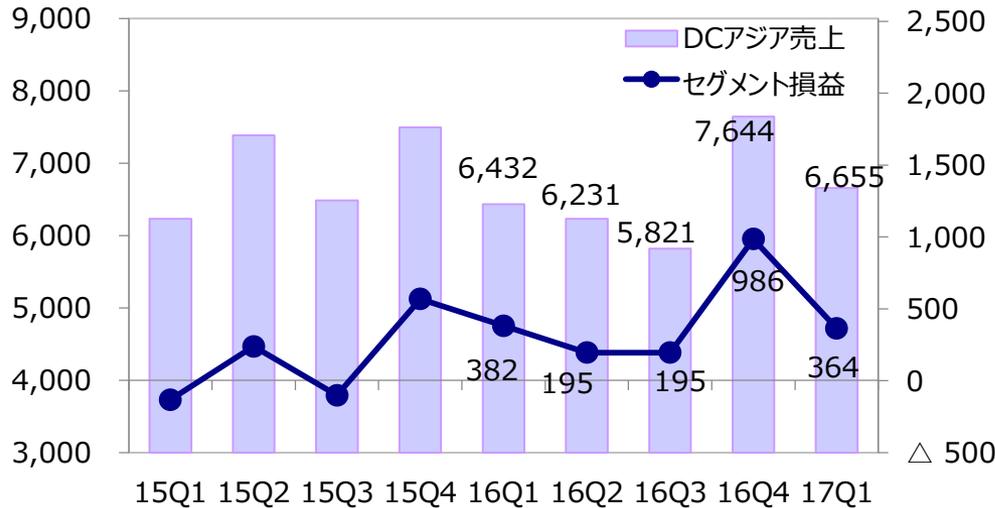
セグメント損益増減要因（単位：百万円）



決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
 レート（16Q1⇒17Q1）アメリカ 109.58⇒111.61 メキシコ 116.44⇒113.75

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：2.2億円増（前期比3.5%増）

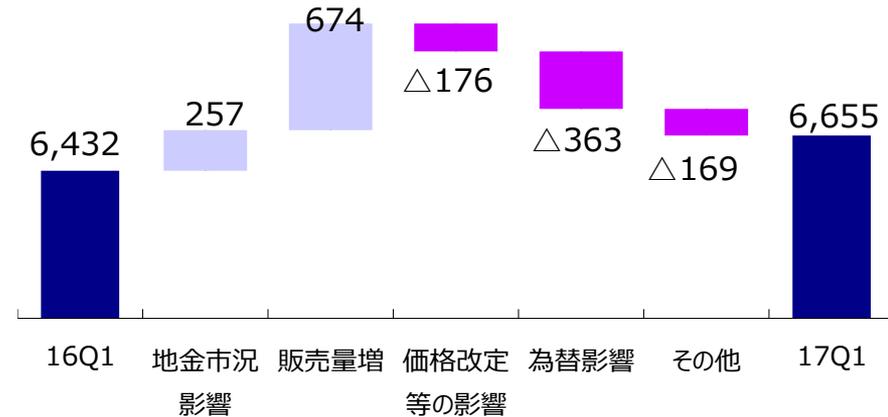
- 中国はSUV増産による受注増
- インドも受注増により売上増加

セグメント損益：0.1億円減（前期比4.7%減）

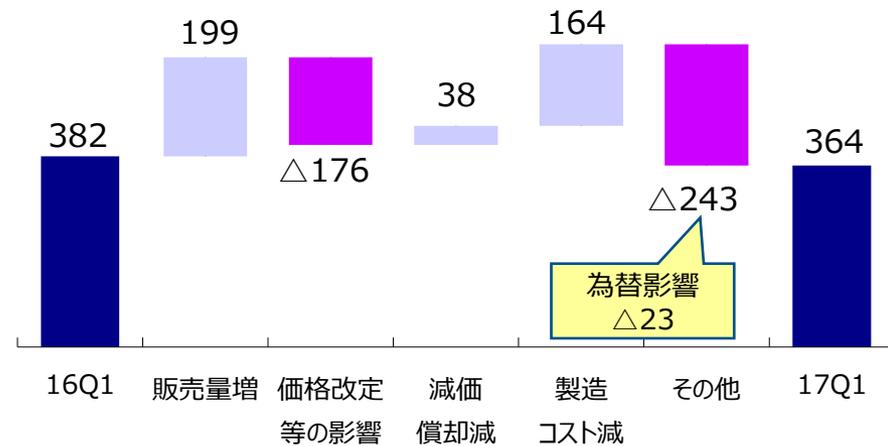
- 中国・インドでの受注増加が収益面で貢献
- 中国の生産性改善も収益に貢献

決算期:中国12月期、インド3月期
レート (16Q1⇒17Q1) 人民元 17.77⇒16.51 インドルピー 1.64⇒1.73

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2016年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		増減	
アルミニウム 事業	売上高	1,123	100.0%	1,107	100.0%	△16	△1.5%
	セグメント損益	90	8.0%	56	5.1%	△34	△37.2%
完成品事業	売上高	831	100.0%	435	100.0%	△396	△47.7%
	セグメント損益	59	7.1%	53	12.2%	△6	△11.5%

アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況変動による販売価格の減少により減収（前期比1.5%減）
- ▶ セグメント損益：原価低減活動効果はあったが燃料費の価格上昇等により減益（前期比37.2%減）

完成品事業

- ▶ 売上：クリーンルーム物件やコンピュータールーム物件の受注が減少し減収（前期比47.7%減）
- ▶ セグメント損益：減収による影響等により減益（前期比11.5%減）



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。